

P-2

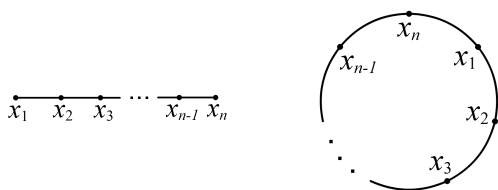
直径2のグラフのレインボー連結数と Moore グラフ
Rainbow connection number of graph with diameter 2 and moore graph

五月女巧
Takumi Saotome¹

Abstract: The notion of rainbow connections was introduced by Chartrand et al. in 2008. In this paper, we present a relationship between the problem of upper bounds on the rainbow connection number $rc(G)$ for graphs of diameter 2 and the problem of the rainbow connection number for Moore graphs.

1 レインボー連結数

本稿では、単純、有限、無向グラフのみを考える。グラフ G に対し、頂点集合を $V(G)$ 、辺集合を $E(G)$ とする。頂点 x に接続している辺の数を x の次数といい、その最小数を最小次数と呼び、 $\delta(G)$ と書く。下の左図はパス、右図はサイクルである。



任意の $u, v \in V(G)$ に対して、 u, v を結ぶ最短パスの辺数を u と v の距離という。任意の2点間の距離の最大値を G の直径といい、 $diam(G)$ で表す。グラフ G に含まれるサイクルの長さの最小値を G の内周といい、 $g(G)$ と書く。任意の2点に対して、その2点を結ぶパスが存在するときグラフは連結であるという。ある辺を除去した場合、グラフが非連結になるときその辺を橋といい、橋がないグラフを *bridgeless* グラフという。パスは連結グラフで、全ての辺が橋である。一方サイクルは *bridgeless* グラフである。

Definition 1.1. グラフ G と $n \in \mathbb{N}$ に対して、 $c : E(G) \rightarrow \{1, 2, \dots, n\}$ を辺着色と呼ぶ。レインボーパスとは、辺の色が全て異なるパスのことである。任意の $u, v \in V(G)$ に対し、 u と v を結ぶレインボーパスがあるとき、辺着色グラフ G をレインボー連結であるという。 G がレインボー連結のとき辺着色 c をレインボー着色という。 G がレインボー連結となるために必要な色の最小数を G のレインボー連結数といい、 $rc(G)$ と書く。

レインボー連結に関する最初の結果は Chartrand et al. による以下の結果である。

Theorem 1 (Chartrand et al. 2008 [1]). G を位数 n の連結グラフとする。このとき次が成り立つ。

- (i) $1 \leq rc(G) \leq n - 1$
- (ii) $rc(G) \geq diam(G)$
- (iii) $rc(G) = 1 \iff G$ は完全グラフ

(iv) $rc(G) = n - 1 \iff G$ は木

(v) G が長さ $n \geq 4$ のサイクルならば $rc(G) = \lfloor \frac{n}{2} \rfloor$

$rc(G)$ の上限の研究は現在活発に行われていて、以下のような結果がある。

Theorem 2 (Schiermeyer 2009). G を頂点数 n , $\delta \geq 3$ の連結グラフとする。このとき、 $rc(G) \leq \frac{3}{4}n$ が成り立つ。

Theorem 3 (Chandran et al. 2010). G を頂点数 n , $\delta \geq 4$ の連結グラフとする。このとき、 $rc(G) \leq \frac{3n}{\delta + 1} + 3$ が成り立つ。

Theorem 4 (Caro et al. 2008). G を頂点数 n の2-連結グラフとする。このとき、 $rc(G) \leq \frac{2}{3}n$ が成り立つ。

Theorem 5 (Holub et al. 2015). X を連結グラフとする。このとき任意の X -free グラフ G が $rc(G) \leq diam(G) + k_X$ を満たす定数 k_X が存在する $\iff X = P_3$

Theorem 6 (Holub et al. 2015). $X, Y \neq P_3$ を連結グラフとする。このとき任意の (X, Y) -free グラフ G が $rc(G) \leq diam(G) + k_{XY}$ を満たす定数 k_{XY} が存在する $\iff X = K_{1,r} (r \geq 4), Y = P_4$ または $X = K_{1,3}, Y = N$ の誘導部分グラフ

Theorem 7 (Dong et al. 2013). G を $\delta \geq 2$ となる連結グラフとする。このとき $rc(G) \leq 2\alpha(G) - 1$ が成り立つ。また、上限は最良である。ただし、 $\alpha(G)$ は G の独立数である。

Theorem 7 から次の主張が得られる。

Corollary 1 (Dong et al. 2013). G を連結グラフとする。このとき $rc(G) \leq 2\chi(\overline{G}) - 1$ が成り立つ。ただし、 $\chi(\overline{G})$ は G の補グラフの染色数である。

1.1 直径とレインボー連結数

Basavaraju et al.(2012) は $diam(G) = 2$ の *bridgeless* グラフに対して、 $rc(G) \leq 8$ が成り立つことを示した。Li らはこの上限以下のようにを改良した。

¹日大理工・院(前)・数学

Theorem 8 (Li et al. 2012 [4]). G が $diam(G) = 2$ な *bridgeless* グラフならば $rc(G) \leq 5$ となる.

Dong[?] らは Theorem 8 の上限が最良であることを示すグラフを構成した. $diam(G) = 3$ のグラフに対しては以下の結果がある.

Theorem 9 (Li et al. 2017). $diam(G) = 3$ である任意の *bridgeless* グラフ G に対し, $rc(G) \leq 9$ が成り立つ.

本研究では以下の問題を考える.

Problem 1. $diam(G) = 2$ の *bridgeless* グラフに $g(G) = 5$ を加えることで $rc(G)$ の上限が改良できるか.

2 Moore graph

グラフ G の頂点の次数がすべて k に等しいとき, G は k -正則であるという.

Definition 2.1. $diam(G) = d$ の r -正則グラフにおいて, 頂点数が

$$1 + r \sum_{i=0}^{d-1} (r-1)^i$$

であるものを **Moore** グラフという.

Moore グラフの研究は Hoffman と Singleton によって始まった. Moore グラフの決定はとても難しい問題で, 現在わかっている Moore グラフは完全グラフ, 奇サイクルと以下のものである.

Theorem 10 (Hoffman et al. 1960 [3]). $diam(G) = 2$ の Moore グラフは 2, 3, 7, 57-正則のときのみ存在する. また 2, 3, 7-正則の場合は一意にグラフが決まる.

$diam(G) = 2$ の 2-正則 Moore グラフは C_5 , $diam(G) = 2$ の 3-正則 Moore グラフはペテルセングラフである. $diam(G) = 2$ の 7-正則 Moore グラフは後で定義する Hoffman-Singleton グラフである. $diam(G) = 2$ の 57-正則 Moore グラフに関しては存在を仮定すると, 位数は 3250 となることは分かっているが, いまだにグラフが存在するかどうかは未解決である.

また, Singleton の結果より次の主張が成り立つ.

Theorem 11. 次の3つは同値である.

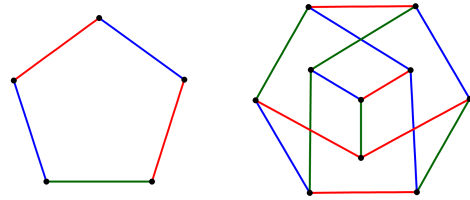
- ① $diam(G) = d$, r -正則なグラフで頂点数が上限のもの.
- ② $g(G) = 2d + 1$, r -正則なグラフで頂点数が下限のもの.
- ③ $diam(G) = d$ かつ $g(G) = 2d + 1$ なグラフ.

Theorem 11 より, Problem 1 は次のように言い換えられる.

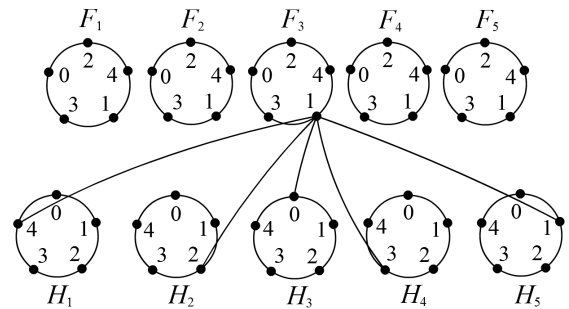
Problem 2. $diam(G) = 2$ の Moore グラフの $rc(G)$ を決定できるか.

頂点数5のサイクルとペテルセングラフの $rc(G)$ は以下ようになる.

Fact 2. 位数5のサイクルとペテルセングラフのレインボー連結数は3である.



次の問題は Hoffman-Singleton グラフの $rc(G)$ で, その構成は以下のとおりである. 下の図のように $F_1, \dots, F_5, H_1, \dots, H_5$ をラベル付けされた頂点から成る10個の互いに素な長さ5のサイクルとする. Hoffman-Singleton グラフは $F_1 \cup \dots \cup F_5 \cup H_1 \cup \dots \cup H_5$ に全ての $1 \leq j \leq 5, 0 \leq i \leq 4, 1 \leq k \leq 5$ に対して, 点 $i + jk$ を辺で結ぶことで得られるグラフである.



我々は以下の予想を提言する.

Conjecture 1. Hoffman-Singleton グラフの $rc(G)$ は3である.

現在この予想を解決しようと研究を進めている.

References

- [1] G. Chartrand, G.L. Johns, K.A. McKeon and P. Zhang, *Rainbow connection in graphs*, Math. Bohem. 133 (2008) 8598
- [2] M. Miller and Jozef Siran, *Moore Graphs and Beyond : A survey of the Degree/Diameter Problem*, The Electronic Journal of Combinatorics (2013)
- [3] A.J. Hoffman and R.R. Singleton, *On Moore graphs with diameter 2 and 3*, IBM J. Res. Develop. 4 (1960) 497504.
- [4] Li, H., Li, X., Liu, S.: *Rainbow connection in graphs with diameter 2*. Discrete Math. 312(8), 1453 1457 (2012)